

出会いの森

玉津小学校

検索

※ホームページもぜひご覧ください。

自分も友だちも大切にでき、みんなの笑顔があふれる学校に！

校長 廣瀬 尚美

令和7年度も引き続き校長として、保護者・地域のみなさまどうぞよろしくお願い致します。昨年は、子どもたちの主体的な活動で全校で盛り上がる場面が多かった一年でした。また、さまざまなつながりから、子どもたちが環境や芸術、未来について触れたり考えたりするなど豊かな学びや体験をすることができました。令和7年度は子どもたちの自尊感情を高め、自分の大切さを実感するとともに、友だちや周囲の人を大切にすることで、子どもたちの笑顔でいっぱいの学校にしていきたいと思ひます。

令和7年度は、新入生72名、転入生3名を迎え、全校児童347名でのスタートです。今年度も「たすけ合い まなび合い つくりあげる玉津の子」を合言葉に、たすけ合って「うれしい」笑顔や、まなび合って「わかった、できた」笑顔、みんなで作ってあげて「成長を実感した、やりとげた」笑顔など、そんな笑顔があふれる学校づくりを更に推進していきたいと考えています。職員が一丸となって取り組んでいきたいと思ひますので、これまで同様、保護者や地域のみなさまの温かいご支援とご協力をお願いいたします。



学校教育目標 (めざす子ども像)

たすけ合い まなび合い つくりあげる玉津の子

めざす学校像

子どもたちの笑顔があふれる学校

① 心地のよい学級集団づくり

- ・ 爽やかなあいさつ
- ・ 学習規律の定着
- ・ 多様な意見が認め合える
集団づくり

② 目に美しい環境づくり

- ・ 清掃の徹底
- ・ 整理、整頓の徹底
(落とし物、机・いすの整頓)
- ・ 後片付けの徹底

③ 耳に美しい環境づくり

- ・ 時と場に応じた丁寧な言葉づかい
(友だち言葉と丁寧言葉の使い分け)
- ・ 心のこもった優しい言葉づかい

これまで同様、集団づくりや環境づくりに力を入れて取り組み、「子どもたちの笑顔があふれる学校づくり」を目指します。また、自分の思いや考えを伝えて広げ深める話し合い活動や子どもたちが実際に体験ができる活動を大切にしたいと考えます。家庭や地域、学校が連携して、みんなで玉津の子を育てていきたいと思ひますのでよろしくお願い致します。

■組織紹介

新しいメンバーが加わり、気もちも新たに令和7年度がスタートしました。今年度は、下記の体制で取り組みます。保護者や地域のみなさまのご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。(☆印が今年度からの教職員です。)

校長	廣瀬 尚美	5 A	山村 理佳
教頭	藤田 康一郎 ☆	5 B	堀部 航平
教務主任	寺崎 めぐみ	6 A	村田 悠哉
教務	足立 亮	6 B	大木本 保久
教務	新谷 柚奈	ことばの教室	内田 勉
養護教諭	東郷 久美	事務	池田 奈美子
わかくさA	小西 鈴代	事務	三好 久美子
わかくさB	羽野 佐知子	栄養教諭	駒井 隆子 ☆
1 A	石原 徳雄	特別支援アシスタント	山本 公子
1 B	梅本 華子 ☆	いきいき支援員	中島 郁代
1 C	松山 敦子 ☆	やすらぎ支援相談員	市原 優子 ☆
2 A	北村 佳史	用務事務補助員	大井 重孝
2 B	大崎 透	英語専科教員	佐竹 桂
3 A	秋山 優人	初任者研修後補充	山田 佳奈子 ☆
3 B	平野 柚乃 ☆	A L T	マリージョイ デ ギア ☆
4 A	玉井 茉美	スクールサポートスタッフ	南 美早
4 B	福井 駿	日本語指導	奥村 智恵子

■日課について * 令和5年度からこの日課で実施しています。

	月	火	水	木	金
8:15~	朝の会	朝の会	朝の会	朝の会	朝の会
8:30~	できるんじゃー タイム	できるんじゃー タイム	8:30~9:15 1校時	できるんじゃー タイム	読書タイム
8:45~	1校時			1校時	

* 「できるんじゃータイム」では、イングリッシュやAIドリル、基礎的な学習に取り組みます。読書タイムは、読書の習慣化を図るために金曜日に設定し、土日の読書に繋がります。

◎下校時刻

詳細は担任からお知らせしますが、基本は下の表の時間になります。

下校時刻	月	火	水	木	金
1・2年	14:50	14:50	15:10	14:50	14:50
3年	14:50	15:40	15:10	14:50	15:40
4年	※14:50	15:40	15:10	15:40	15:40
5・6年	15:45	15:40	15:10	15:40	15:40

※4年生は月曜日にクラブがある場合は15:45になります。(月1回の予定)



教室配置図

3A	3B	ワーク スペース	5A	5B	WC	階 段	児童会室	郷土資料室
3階								
6B	6A	2B	2A	4B	WC	階 段	相談室	準備室
2階							図書室	調理室
ことばA	1A	1B	1C	4A	WC	階 段	昇降口	給食室
1階							職員室	わかくさA
							保健室	わかくさB

■ 1学期の主な行事予定 (変更になる場合があります)

<p>4月</p> <p>11日(金) 給食開始</p> <p>25日(金) 学習参観、学級懇談会、</p> <p>5月</p> <p>7日(水) 避難訓練</p> <p>15日(木) リレー記録会 ②低学年③中学年④高学年</p> <p>16日(金) 自主活開講式</p> <p>19日(月)～22(木) 個別懇談(希望者)</p> <p>27日(火) 体カテスト</p> <p>30日(金) プール清掃(5・6年)</p> <p>*今年度も家庭訪問ではなく、学校での希望者の懇談にする予定です。詳細は後日お知らせします。</p>	<p>6月</p> <p>3日(火) カヤック体験(プール:5・6年)</p> <p>5日(木) プール開き 守山市小学校体育祭(6年)</p> <p>10日(火) カヤック体験(琵琶湖:6年)</p> <p>17日(火) 学習参観・救急救命講習</p> <p>7月</p> <p>14日(月)～17日(木) 個別懇談(全員)</p> <p>15日(火) 給食終了</p> <p>18日(金) 終業式・大掃除</p> <p>*1学期末はこれまで学級懇談会を実施していましたが今年度は個別懇談を行います。</p>
--	---

■欠席等の連絡について

- ・令和6年度より、アプリを使っての欠席等の連絡が可能になりました。アプリでの入力ができるのは8時までですので、それ以降は8時15分までに電話連絡をお願いします。欠席する時や集団登校できない場合は、当日の集合時刻までに班長または同じ学年の友だち等に必ず連絡をお願いします。
- ・8時15分の時点で連絡がなく登校がない場合は、学校から確認の連絡をします。
- ・集合時刻に間に合わず遅れて登校する場合には、安全確保のため必ず学校まで保護者の方の付き添いをお願いします。
- ・昨年度の2学期より、欠席した日に「お休み郵便」を届けていません。持ち物などは基本的に週予定での確認をお願いします。時間割や持ち物に変更がある場合は、担任から電話等で連絡をします。本校にきょうだいがいる場合は、便り等を持ち帰ってもらう場合があります。連絡帳や連絡袋での欠席連絡の場合は、それらの返却が翌日以降になります。宿題についても連絡しませんので、登校後の取り組みで大丈夫です。

■学校の電話対応について

- ・学校への電話連絡は、平日の7時45分から18時15分の間でお願いします。この時間以外は、自動応答メッセージとなります。緊急の場合は守山市役所（583-2525）へご連絡ください。

差別をなくす取り組みから生まれた教科書無償化

4月になると新しい教科書が配付されます。この教科書は無償です。しかし、初めから教科書が無償だったわけではありません。教科書が無償となった背景には、多くの人の涙と努力、そして「何とかしたい」という熱い思いによる運動があったのです。

1961年、高知県でこの運動が始まりました。当時、教科書は有償で、学校に行くためには教科書を買わなければなりません。しかし、すべての人が教科書を買えたわけではありません。経済的に苦しい家の子どもは、教科書を買うことができず、教科書のない状態で学校に行かなければなりません。小学校・中学校は義務教育であり、大人は子どもに教育を受けさせる義務があります。このことは日本国憲法第26条に記されています。けれど、経済的な理由で教科書を買えない家の子どもは、学校に行っても満足に教育を受けられないという事実がありました。この問題は、高知県だけでなく、日本全国で起こっていました。

教育が受けられない状態を何とか変えたいと親たちが立ち上がりました。特に被差別部落の親たちは「子どもたちにしっかりと教育を受けさせたい」と強く願っていました。そこで憲法を学習し、「教科書が買えないから教育を満足にうけることができない。これは憲法に違反している。」と考え、行政交渉（市役所や県庁などに行って間違っていることを伝え、よくなるように改めてもらうこと）を行いました。最初はうまくいきませんが、「すべての子どもが安心して学校で授業を受けられるようにしてほしい。そのために教科書は無償にしてほしい」とあきらめずに何度も訴える中で、行政も少しずつ変わってきました。部落差別をなくそうとする人々の取組のなかで生まれた教科書無償闘争は、高知県だけでなく、大阪府、奈良県、京都府へ広がり、さらに全国各地へと広がっていきました。

そこで1963年「義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律」が成立し、教科書無償化が全国的に実現したのです。

現在、当たり前のように手にしている教科書。その歴史には、多くの人の熱い思いや取組があり、その恩恵を今の私たちが受けているのです。新たなスタートである今だからこそ、ご家庭でも今一度考えてみてください。

（公社）滋賀県人権教育研究会作成「人権カレンダー」参照